

## 町のあゆみ

西 暦	年 号	事 項
17世紀半	明 暦 の 頃	松前藩羽幌で砂金採取
1690年	元禄3年	松前藩の藩士及び鉱夫数10名、羽幌で砂金採取
1692年	" 5年	羽幌のアイヌ虚説を口実に鉱夫60余名福山に逃げ戻る
1695年	" 8年	金堀奉行及び鉱夫20名を羽幌に派遣
1696年	" 9年	朝鮮漂人8名羽幌に参着
1700年	" 13年	「元禄御国絵図」にとままい、はほろ、てふれ島の記載あり
1778年	安永7年	焼尻に同年8月15日付の墓碑あり
1786年	天明6年	六代栖原角兵衛、天売、焼尻の漁場請負を命ぜられる
1787年	" 7年	六代栖原角兵衛、苫前場所の請負を命ぜられる
1792年	寛政4年	天売沖で鯨取りのアイヌ23人、松前の漁夫1人遭難
19世紀初	文 化 年 間	沿岸の調査、測量が行われる
19世紀半	弘 化 ・ 安 政	松浦武四郎沿岸の調査を行う
1848年	嘉永元年	米人ラノルド・マクドナルド焼尻に漂着
1855年	安政2年	えぞ地再び幕府領となり、苫前領は秋田藩の整備地となる
1859年	" 6年	苫前領、天売、焼尻(天塩領)庄内藩の支配地となる
1869年	明治2年	開拓使を設置し、えぞを北海道と命名 苫前領、天塩国苫前郡となる 苫前郡、水戸藩支配地となる
1871年	" 4年	水戸藩支配終わる 十代栖原角兵衛が天塩国一円の漁場持ちとなる 栖原の支配人、羽幌で鱒漁試みる
1876年	" 9年	北海道大小区画定められ、苫前郡を苫前村、白志泊村、力昼村、焼尻村、 天売村に区画 栖原漁場持を命ぜられる
1879年	" 12年	郡区町村制が定められ、留萌に郡役所設置、焼尻村、天売村戸長役場を 焼尻に設置
1880年	" 13年	苫前村、白志泊村、力昼村戸長役場を苫前に設置
1881年	" 14年	郡役所増毛に移る
1882年	" 15年	開拓使廃止され、苫前郡は札幌県に属す
1885年	" 18年	工藤浅吉、渡守として羽幌川岸に移住
1886年	" 19年	立崎熊次郎、渋谷善兵衛等鯨漁業に従事、三県廃止、北海道庁設置
1887年	" 20年	斎藤知一捕鯨業を始める 築別川岸に青木宗吾移住
1888年	" 21年	苫前炭田の調査実施
1890年	" 23年	鯨大漁、捕鯨業活況を呈す
1892年	" 25年	最初の説教所(曹洞宗)開設 苫前尋常小学校羽幌分校設立(28年独立)
1894年	" 27年	羽幌村成立(明治27年2月3日道庁告示第11号) 羽幌市街区画実施(明治27年4月19日道庁告示第34号) 苫前漁業組合羽幌支所設置
1895年	" 28年	羽幌橋架設される 巡查駐在所設置
1896年	" 29年	羽幌、築別両原野解放され福井、富山県等から約400戸団体移住者入植 羽幌郵便局設置 羽幌消防組合設置 羽幌神社建立
1897年	" 30年	羽幌村戸長役場独立(明治30年7月15日道庁告示第139号開庁) 郡役所制廃止、市庁制制定、増毛支庁設置、森林看守駐在所設置
1899年	" 32年	増毛区裁判所羽幌出張所設置 羽幌村農会設立
1900年	" 33年	道庁命令、航海定期船寄港開始 初山別村設立
1901年	" 34年	初山別村戸長役場独立
1902年	" 35年	二級町村制施行 天売村戸長役場設置

西 曆	年 号	事 項
1902年	明治35年	天売沖で鯨漁船60余隻難破、228名溺死
1904年	" 37年	羽幌村水産組合設置 天塩貯蓄銀行羽幌支店設置
1905年	" 38年	鯨大漁
1906年	" 39年	焼尻村、天売村に二級町村制施行
1908年	" 41年	帝室林野局羽幌出張所設置 天売沖で鱈つり船34隻難破、229名溺死
1909年	" 42年	一級町村制施行
1910年	" 43年	羽幌土功組合設立
1911年	" 44年	鯨大漁、山火事
1912年	大正元年	羽幌土功組合かんがい溝完成 人口1万人を越す(1,761戸10,695人)
1913年	" 2年	大凶作
1914年	" 3年	増毛支庁を留萌支庁に改める
1915年	" 4年	羽幌第2土功組合設立
1916年	" 5年	澱粉製造業活況呈す
1917年	" 6年	羽幌第2土功組合かんがい溝完成 耕地面積(3,977町歩)最高に達す 鯨凶漁
1918年	" 7年	羽幌電気株式会社創立
1919年	" 8年	築別土功組合設立 糸屋銀行羽幌支店設置
1920年	" 9年	帝国製麻株式会社羽幌製綿工場設立 朝日信用購買販売組合設立
1921年	" 10年	札幌測候所羽幌支所として観測を開始(大正8年告示、9年設置) 築別土功組合かんがい溝完成 町制施行
1922年	" 11年	羽幌第3土功組合設立
1923年	" 12年	9月大洪水、川北、川南1丁目浸水
1924年	" 13年	電話交換業務開始
1925年	" 14年	公設グラウンド設置 豊作、豊漁海陸2万石祝賀会開催
1926年	昭和元年	北大通大火、17戸焼失。羽幌橋鉄筋コンクリートに架替 北海道拓殖銀行羽幌派出所設置
1928年	" 3年	羽幌商工会設立
1929年	" 4年	南高台に競馬場設置
1931年	" 6年	凶作(昭和9年まで続く)
1932年	" 7年	国鉄羽幌線開通(古丹別~羽幌間)船入潤修築工事始まる
1934年	" 9年	鯨大豊漁
1935年	" 10年	苫前両島定期船株式会社設立
1937年	" 12年	羽幌自動車合資会社設立
1938年	" 13年	鯨未曾有の凶漁
1939年	" 14年	太陽産業株式会社築別炭砒の開発に着手
1940年	" 15年	築別炭砒の採炭始まる
1941年	" 16年	羽幌炭砒鉄道株式会社設立 国鉄羽幌線、築別間及び羽幌炭砒鉄道開通 大正製麻会社羽幌亜麻工場設立
1942年	" 17年	森林鉄道敷設工事竣工
1943年	" 18年	羽幌川改修工事竣工
1945年	" 20年	町立羽幌病院設置(昭和28年北海道に移管、北海道立羽幌病院となる)
1947年	" 22年	羽幌二坑(上羽幌)の開発始まる 羽幌中学校創立
1948年	" 23年	羽幌本坑(羽幌砒)の開発始まる 留萌高校羽幌分校創立。公民館設置
1950年	" 25年	町立羽幌高校設立(昭和26年に道立移管) 「天羽丸」羽幌に寄港開始 築別炭砒で大争議おこる

西 曆	年 号	事 項
1952年	昭和27年	羽幌電報電話局開局 南大通1丁目大火20棟32世帯全焼
1953年	" 28年	人口2万人を越す
1954年	" 29年	15号台風の被害2億4,000万円に達す
1955年	" 30年	天売村を編入合併
1956年	" 31年	石炭、年産50万トン突破
1958年	" 33年	国鉄羽幌線、築別～遠別間開通
1959年	" 34年	焼尻村を編入合併
1960年	" 35年	築別橋竣工
1962年	" 37年	名羽線起工式を挙行。石炭、年産100万トン突破
1964年	" 39年	人口3万人を越す。天売、焼尻道立自然公園となる 羽幌橋竣工
1965年	" 40年	児童会館完成 NHKテレビ放送中継局開局
1966年	" 41年	羽幌ダム完成
1968年	" 43年	開基70周年記念式典。 スポーツ公園陸上競技場及び野球場完成 羽幌町外2町村衛生施設組合設立(4月16日)
1969年	" 44年	天羽丸就航(羽幌港基地となる)
1970年	" 45年	役場庁舎竣工(12月10日) 羽幌炭砒鉄道廃止(築別炭砒～築別間)(12月14日) 羽幌炭砒閉山(12月19日)
1972年	" 47年	羽幌北大通簡易郵便局の開局 羽幌町葬斎場竣工(6月14日)
1973年	" 48年	北留萌消防組合設立(苫前、羽幌、初山別、遠別、天塩、幌延加入) 築別へき地保育所設立
1974年	" 49年	株式会社エス・ピー・エフ畜産センター設立 特別養護老人ホム「しあわせ荘」設立
1975年	" 50年	統合中学校羽幌中学校校舎落成 羽幌川切替事業着手 北海道立羽幌病院新築落成(11月1日)
1976年	" 51年	勤労青少年ホーム落成 羽幌町霊園分譲開始 老人福祉センター落成 留萌中部森林組合設立(羽幌、苫前合併による) 羽幌港西防波堤灯台完成
1977年	" 52年	武道館落成 羽幌小学校グラウンド新設 焼尻郷土館(小納邸、明治33年建築)羽幌町有形文化財指定(12月19日)
1978年	" 53年	漁村環境改善センター落成 焼尻中学校落成(6月) 町民憲章制定 羽幌町開基80周年記念式典(7月6日) 北留萌消防組合庁舎落成(10月1日)
1979年	" 54年	羽幌町外2町村衛生施設組合ごみ処理施設竣工(2月8日) 町立焼尻高校閉校(3月31日) 東海大学海洋研究所羽幌町分室開設(8月22日) 二股ダム落成(8月28日) 富山県東砺波郡平村と友好町村提携(9月11日) 焼尻郷土館(小納邸)北海道有形文化財指定(11月27日) 民間テレビ放送(UHB、HTB)中継局開局(12月6日) 羽幌自動車学校(公安委員会指定)開校(12月20日)
1980年	" 55年	羽幌町外2町村衛生施設組合し尿処理施設竣工(2月20日) つつじヶ丘団地造成工事竣工(11月1日) 羽幌港北側防波堤着工(6月) 石川県河北郡内灘町と姉妹都市提携(10月1日) 羽幌大橋完成(10月24日)

西 曆	年 号	事 項
1980年	昭和55年	羽幌町商工会館竣工（10月25日） 老人コミュニティセンター竣工（12月8日） 国鉄羽幌線存続期成会発足（12月17日）
1981年	" 56年	羽幌共同福祉センター竣工（2月20日） 北海道羽幌高等学校新校舎竣工（3月13日）
1982年	" 57年	緑の村開村（6月6日） 羽幌町郷土資料館開館（5月1日）
1983年	" 58年	雇用促進住宅落成（3月27日） 国鉄羽幌線存続連合期成会発足（2月14日）
1984年	" 59年	平和のまち宣言（12月3日） 焼尻支所庁舎竣工（9月30日） 焼尻総合グラウンド竣工 南町運動広場竣工
1985年	" 60年	羽幌高等学校定時制課程閉課（2月24日） 留萌支庁管内中央空港建設促進期成会発足（3月29日）
1986年	" 61年	羽幌川新水路通水（2月13日） 国鉄羽幌線バス転換に決定（8月6日） 中央公民館完成（9月16日）
1987年	" 62年	国鉄羽幌線廃止（3月29日） 国鉄羽幌線代替バス運行（3月30日） サンセットビーチハウス竣工（7月21日） 豊越橋竣工（9月21日） 羽幌バスターミナル落成（12月7日）
1988年	" 63年	新浄水場の竣工（1月20日） 新羽幌町総合振興計画策定（4月1日） サンセットウエディング（天売沖での洋上結婚式）行われる（6月18日） テニスコート完成（9月25日） 住民基本台帳の電算処理スタート（10月1日） 4条通りに相合橋完成（11月14日）
1989年	平成元年	羽幌町郷土資料館（旧裁判所）オープン（5月1日） フェリー「おろろん」就航（6月1日） 道立病院CTスキャナー設置（11月1日） 平元橋（6条橋）共用開始（12月20日）
1990年	" 2年	焼尻で野菜栽培開始（4月） 天売、焼尻に海底探勝船就航（6月1日） 天売、焼尻が国定公園（暑寒別天売焼尻国定公園）に昇格（8月1日） 天売支所庁舎竣工（8月8日） レストパークはぼろ開園（8月14日） 道立病院で人工透析治療開始（12月18日）
1991年	" 3年	高速船「さんらいなゝ」就航（4月12日） 道立病院で耳鼻咽喉科診療開始（9月30日） 「温泉源可能性調査」電気探査開始（10月2日） 羽幌町花き生産推進協議会発足（11月15日） 焼尻西浦北防灯台完成（11月20日） ウニ種苗生産センター竣工（12月9日）
1992年	" 4年	地熱（温泉）開発ボーリング開発（6月12日） 川跡地から温泉噴出（7月20日） ウニ種苗生産センター採苗スタート（9月1日） 羽幌小学校新プールオープン（9月29日）
1993年	" 5年	羽幌産ウニ種苗初出荷（5月14日） 第3セクター「羽幌観光開発株式会社」創立（6月10日）
1994年	" 6年	農協で「営農ファックス情報システム」導入（6月6日） サンセットプラザはぼろ（いきいき交流センター）オープン（12月4日）
1995年	" 7年	N T T 羽幌営業所が留萌営業所に統合（2月28日） 公共下水道工事着手（7月） 羽幌町デイサービスセンターオープン（2月20日） 北海道栽培漁業羽幌センターオープン（4月15日）

西 曆	年 号	事 項
1996年	平成8年	羽幌・天売・焼尻漁業協同組合が合併（9月1日） 旭川地方法務局羽幌出張所が留萌支局に統合（12月2日）
1997年	" 9年	すこやか健康センターオープン（3月24日） 留萌公共職業安定所羽幌分室が統廃合（3月31日） 北海道海鳥センターオープン（4月25日） ふるさと羽幌100年記念式典（7月20日） 羽幌消防団創立100周年記念式典（8月1日）
1998年	" 10年	「ほっと♡はぼろ」道の駅指定（4月17日） はぼろバラ園、道の駅オープン（6月30日） 民放ラジオ難聴解消（STV・HBC）中継局開局（10月1日） 総合体育館落成（11月1日） TVH羽幌放送局開局（11月26日） 羽幌町民スキー場オープン（12月13日）
1999年	" 11年	測候所統合により無人化（3月1日） 羽幌営林署統合。留萌北部森林管理署羽幌事務所設置（3月1日） 豪雨による被害発生
2000年	" 12年	特別養護老人ホーム「しあわせ荘」羽幌町社会福祉協議会に 運営委託（3月31日） 羽幌中央小学校閉校（3月31日） 留萌公共職業安定所羽幌職業相談室廃止（3月31日） 炭鉱閉山後第1号の誘致企業「北海道岡橋羽幌工場」閉鎖（6月20日） 焼尻消防団創立100周年記念式典（6月25日） 離島地区でごみの分別収集スタート（8月21日） ふれあい橋供用開始（10月24日） 離島地区高齢者支援センターオープン（12月1日）
2001年	" 13年	新羽幌町史発刊（3月） 羽幌光洋小学校閉校（3月31日） 市街地区ごみ分別収集スタート（4月1日） 町納税貯蓄組合設立50周年記念式典（6月24日） 新フェリー「おろろん2」就航（5月20日） 天売消防団創立100周年記念式典（6月24日） 留萌北部森林管理署羽幌事務所(旧営林署)が留萌北部森林管理署(天塩町) に統合（8月1日） いきいきデイサービスセンターオープン（11月1日）
2002年	" 14年	羽幌町総合振興計画「ほっとプラン21」策定（4月1日） 新パークゴルフ場オープン（6月1日） 下水道終末処理場「羽幌浄化センター」完成（10月1日） ごみ処理施設「きらりサイクル工房」完成（11月1日） ごみ有料化スタート（11月1日） 矯正施設誘致期成会設立（11月13日）
2003年	" 15年	町内循環バス「ほっと号」運行開始（5月1日） 羽幌・初山別・遠別の農協が合併し、オロロン農業協同組合発足（8月1日）
2004年	" 16年	羽幌・苫前・初山別・天塩の漁協が合併し、北るもい漁業協同組合発足（1月1日） 台風18号が直撃、総額6億2,700万円の被害（9月8日） 天売小中学校の新校舎が完成（10月20日） 留萌管内南部でM6.1の地震発生、羽幌町で震度5弱を観測（12月14日）
2005年	" 17年	羽幌幌北小学校閉校（3月31日） 羽幌・初山別の土地改良区が合併し、オロロン土地改良区発足（4月1日） ハートタウンはぼろオープン（6月2日） 北海道立羽幌病院移転改築、新病院落成（6月3日）
2006年	" 18年	特別養護老人ホーム「しあわせ荘」、いきいき交流センター「サンセットプ ラザ」の指定管理者制度による管理運営開始（4月1日） 子ども発達支援センター「にじいろ」オープン（4月1日） 日本海オロロンライントライアスロン国際大会が第20回大会をもって閉幕 （8月27日）
2007年	" 19年	羽幌町自立プラン「自立と共生のまちづくり」策定（9月1日） 新しいご当地グルメ「日本海えびタコ餃子」の発表（6月1日）



西 曆	年 号	事 項
2007年	平成19年	超高速インターネット「Bフレッツ」のサービス開始(12月3日)
2008年	" 20年	米穀乾燥調製貯蔵施設「羽幌ライスターミナル」竣工(2月29日) 焼尻めん羊牧場、総合体育館の指定管理者制度による管理運営開始(4月1日) 新しいご当地グルメ第2弾「日本海えびタコ餃子カレー丼」、天売島「ガヤ天井」・焼尻島「タコ揚げ定食」の発表(5月15日、6月2日) 焼尻サフォークが北海道洞爺湖サミット晩餐会の食材に採用(7月7日) 「羽幌町都市計画マスタープラン」策定(8月13日) 中間育成施設「うに種苗生産センター」廃止(12月1日)
2009年	" 21年	羽幌町独自のご当地グルメ「羽幌えびタコ焼き餃子」の発表(6月15日) 町民の思い出の羽幌炭鉱鉄道「SL58629号」撤去(6月15日) 羽幌中学校の耐震補強が完了(9月28日) インフルエンザが町内で大流行(10月～) 道北地区ドクターヘリが運航開始(10月7日) 富山県南砺市たいら地区友好町村締結30周年を迎える(10月28日) 特別養護老人ホーム工事着手、第1期工事ユニット棟完成(11月29日) 地上デジタル放送開始(12月26日)
2010年	" 22年	町単独住宅「栄町夕陽ヶ丘団地」の運営開始(4月1日) 石川県内灘町姉妹都市提携30周年を迎える(8月9日) 記録的な集中豪雨で町内各所に被害発生、1時間あたりの雨量は羽幌で49ミリ、焼尻で64ミリを記録(8月14日) 特別養護老人ホーム改築、第2期工事多床棟完成(11月10日)
2011年	" 23年	大雪で降雪量35センチ、積雪量は平年2倍の112センチを記録(1月6日) 離島地区で光インターネット接続サービス開始(4月1日)
2012年	" 24年	第6次羽幌町総合振興計画「ほっとプラン」策定(4月1日) 役場窓口でパスポートの申請・受取りスタート(4月1日) 広域火葬場「はまなす聖苑」が供用開始(8月1日)
2013年	" 25年	北るもい漁業協同組合事務所・市場が中央ふ頭へ移転新築(3月15日) 新羽幌フェリーターミナル移転新築及び新高速船が就航(4月1日) 島づくりの方針を定めた羽幌町離島振興計画を策定(4月1日) 焼尻めん羊毛を使ったフトンを生児に贈る「愛ランド・サフォーク夢のフトンプレゼント事業」がスタート(4月1日) 羽幌町ご当地グルメ第2弾「羽幌えびしおラーメン」誕生(6月25日) 焼尻島出身の書家、中野北溟氏の作品展示室「書の北溟記念室」が中央公民館にオープン(10月26日) 農協、土地改良区、農業改良普及センターが集約されたオロロン農業協同組合地域振興センターが竣工(11月6日)
2014年	" 26年	戸籍の電算化スタート(6月30日) 商業複合施設「ハートタウンはぼる」町の所有に(7月1日) 記録的な豪雨による24時間降水量159.5ミリは観測史上最大値を更新(8月4～5日) 天売高等学校創立60周年記念式典開催(9月27日) ゆるキャラ「オロ坊」が入ったご当地ナンバープレート交付開始(10月1日) 羽幌オロロン太鼓の会羽幌町無形文化財に(12月2日)